

2018 年 12 月 14 日

## 非血縁者間骨髄採取認定施設 採 取 責 任 医 師 各 位

公益財団法人 日本骨髄バンク  
ドナー安全委員会

### 骨髄液を 200 $\mu$ m フィルターでろ過処理(ボーン マロウ コレクションキット使用)が できなかった事例について

このたび、非血縁者間骨髄採取において「ボーン マロウ コレクションキット」を使用しトランスファーパックコンテナへ充填を行う際、1 パック目を終了した時点で 500  $\mu$ m フィルター(赤)、200  $\mu$ m フィルター(青)を不潔としてしまい、2 パック目への充填の際に 200  $\mu$ m フィルター(青)でろ過されないまま移植施設へ引き渡された事例が報告されました。

本委員会としては、再発防止の観点から、これらの情報を各採取施設へお伝えすることと致しました。

以下、ご確認の程お願いいたします。

#### ■採取施設からの報告（抜粋）

##### <経過>

- 総量 900ml を 2 個のビーカーに貯留した状態で採取を終了し、採取終了後に「ボーン マロウ コレクションキット」を使用しトランスファーパックコンテナへ充填を開始した。
- 1 パック目は使用方法通りに、500  $\mu$ m(赤)フィルターと 200  $\mu$ m(青)フィルターに接続し終了。
- 2 パック目をトランスファーパックコンテナへ充填する際、ボーンマロウコレクションキットに 2 個の 500  $\mu$ m(赤)フィルターが梱包されているので、フィルターを交換しようと、500  $\mu$ m(赤)フィルターと 200  $\mu$ m(青)フィルターを外して清潔区域外へ出した。しかしボーンマロウコレクションキットには、200  $\mu$ m(青)フィルターは 1 個しか梱包されていないため、新たなキットから 200  $\mu$ m(青)フィルターを補充しようとしたが、施設内に予備のキットがなかった。
- 移植施設にボーンマロウコレクションキットがあることを確認し、2 パック目は 500  $\mu$ m(赤)フィルターのみでろ過し、トランスファーパックコンテナへ充填。
- 移植施設には 200  $\mu$ m(青)フィルターを通していただき、移植に用いていただくことを了解していただいた。

<対策>

- ・フィルターがそれぞれ2個ずつ梱包されていると思い込み、勘違いしていた。  
何らかの対応に際しては、複数名で慎重な確認後に行動することを徹底する。
- ・施設内のボーンマロウコレクションキットの定数は2であったが、1キットしかなく予備のない状態であった。備品管理を徹底する。
- ・採取した骨髓液と希釈液をビーカーに貯留し、採取終了後にトランスファーコンテナへ充填する採取手順を用いていた。シリンジから直接コレクションキットに骨髓液を貯留させる方法により、今回のような事態が生じるリスクが低下するか検討する。

以上

■本件に関する問い合わせ先  
公益財団法人 日本骨髓バンク  
ドナーコーディネート部 杉村・窪田  
TEL 03-5280-2200